

# キラリ熱中時間

ご存じですか!? ラジオで深谷をPR



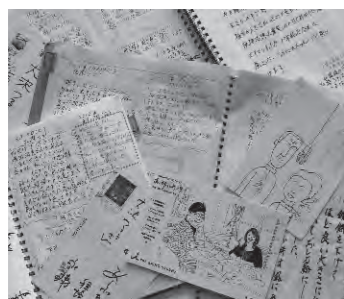
おおさわ つるこさん  
大澤つる子さん

## ラジオで広がる人の輪

NHKラジオやTBSラジオを聴かれているかたには、一度は聞き覚えのある投稿者『埼玉県深谷市の大澤つる子さん』。

大澤さんのラジオ投稿の始まりは15年前。それまで続けていた仕事を、大好きな趣味と義母の面倒を見たいからと、きっぱりと辞めると、今まで関わりの薄かったラジオと出会います。マフソンや家事をしながら聞くラジオで、全国のリスナーからの投稿に感動し、引き付けられました。

今の大澤さんは、普段のふとした気付きに、自分の思いを込めて投稿することが生活の一部になっています。その内容は、自らの目で感じた『季節の便り』や『地元』の出来事『そして』『大好きなマフソン』の話題が中心です。ほぼ毎



▲日常の気付きを書き留めたノートと、ラジオ番組から大澤さんへ届いたメッセージやお礼のはがき

日続いている投稿は、その約7割が採用されラジオで読まれます。読んでもらいたくて投稿するのはなく、また、投稿した全ての番組を聞くこともできませんが、周囲のかたから「また聞いたよー!」「今度はうちのこと書いてね!」「などと言われると、とてもうれし」と話します。

各地のマラソン大会に参加すると、初対面のかたからも「深谷の大澤さんですよ、ラジオで聞いてますよ。」と声掛けが掛かります。

「先日の東京マラソン2014でもユニフォームに『豪雪でも頑張ってます、深谷ねぎ!』」と思いを書いて走りまわりました。たくさんのお支えをいただきましたよ」と、大澤さん。

ラジオを通じて、地域への厚い思いは、人と人とのつながりを広げます。

### TOPICS

祝! ソチパラリンピック・アルペンスキー入賞  
阿部敏弘選手、村岡桃佳選手

深谷市在住の阿部敏弘選手と村岡桃佳選手が、3月7日〜16日まで開催されたソチパラリンピック・アルペンスキー日本代表選手として出場し、見事入賞されました。おめでとうございませす。お二人の競技結果は、左記の通りです。



阿部選手、村岡選手おつかれさまでした!  
Fukaya Japan

#### あべとしひろ 阿部敏弘選手 カテゴリー=立位

日程	種目	タイム			順位
		1本目	2本目	合計	
3月9日	スーパーG男子	1分27秒82(1本の滑走のみで順位を決定)		-	12位
3月13日	スラローム男子	55秒35	1分2秒57	1分57秒92	19位
3月15日	ジャイアントスラローム男子	1分21秒54	1分14秒79	2分36秒33	6位

#### むらおかももか 村岡桃佳選手 カテゴリー=座位

日程	種目	タイム			順位
		1本目	2本目	合計	
3月10日	スーパーG女子	DSQ(競技失格)		-	失格
3月12日	スラローム女子	1分29秒85	1分23秒16	2分53秒01	9位
3月16日	ジャイアントスラローム女子	1分37秒40	1分24秒32	3分01秒72	5位

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩

消防本部・はしご車編



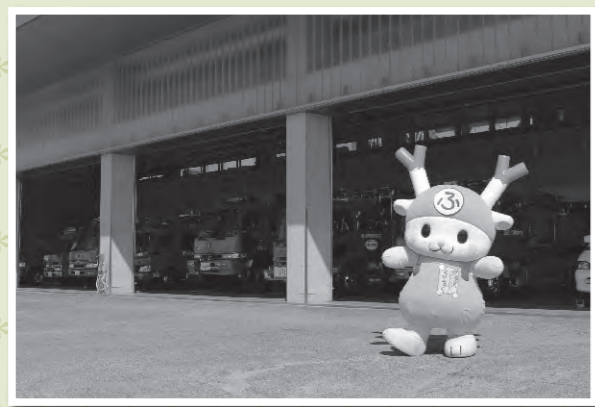
▲見て!見て!3月に導入された最新の『はしご車』は、約35mまで伸びるんだって!建物だと12階くらいまで届くんだよ。高い建物の火事にも対応できるし、先端のバスケッドは曲がるんだって!すごいね!

### ふっかちゃんのつぶやき

119番通報をする時は、『落ち着いて』『正しく』情報を伝えることが大切だよY(o0ω0o)Y



▲あれっ!こんなかわいい消防車もあるんだ!本物のはしご車には乗ることができないけれど、ちびっ子みんなには、『ちびっ子はしご車』があるよ。毎年9月の『総合防災訓練』には登場するから、ぜひ乗りにきてね。



『消防本部』に行ってきたよ。ここは、みんなの命を守る消防・救急・救助の拠点だよ。24時間お仕事しているんだって!いろんな種類の消防車がいっぱい並んでたよ。どれもみんなかっこいいな!

市の公共施設の在り方に関する事項を検討するために設置された「深谷市公共施設在り方検討市民会議」(以下、市民会議)の小野広明会長(埼玉工業大学教授)から、3月7日、協議結果を取りまとめた提言書が市長に提出されました。

市民会議では、老朽化・狭あい化・耐震性の低さなどの問題を抱えている本庁舎を含む特定建築物の耐震化対策について、平成25年8月〜26年2月までの間、計5回の会議を開催し協議を重ねてきました。

提言書の主な内容は、次の通りです。

- ・本庁舎の耐震化対策⇒耐震補強ではなく、新庁舎を建設すること
- ・新庁舎の建設場所⇒現庁舎南側の市道および駐車場を含む現



▲小島市長に提言書を手渡した小野会長(写真右)、荒井副会長(写真左)

問い合わせ 公共施設改革推進室(0276-50009)

## 公共施設のこころの『新庁舎建設』について市長の提言

庁舎敷地とし、現庁舎を使用しながら新庁舎を建設すること

・建設費の財源⇒合併特例債を活用すること

今後は、この提言内容を踏まえ、本庁舎を含む特定建築物の耐震化対策について、市としての方針を決定していくこととなります。

